

# 発達障害者の能力が 活かせる環境づくり

～我々（定型発達）の社会規範を押し付けていませんか？～

発達障害は個人の能力のばらつきが大きく、特に高機能タイプの発達障害者は特定の作業能力などでとても高いものを有することが珍しくない。しかし、家庭では手伝いも作業も十分出来るのに、特別支援学校や職場では全く評価されていないということを保護者から耳にすることがよくある。これはコミュニケーションが苦手でこだわりが強いという特性が影響していると言われるが、改善は難しい。むしろ彼らが働きやすい環境を見つけ出しているから家庭では能力が発揮できるのではないか？障害者雇用率を高めるためには数の多い発達障害者を戦力に出来るかが鍵だと言われる。そのためには職場をどのように変える必要があるのか？新しいアプローチで彼らの雇用を考える。

○期日 平成31年3月17日（日）14:00～16:00

○場所 福井県立大学交流センター3階多目的ホール

○プログラム【スケジュール】

14:00 開会の挨拶と趣旨説明 清水 聡（福井県立大学/JDDnet福井代表）

14:05～14:25 行政報告「発達障害者雇用施策の現状」

福井労働局職業対策課課長補佐 谷口 敏樹

14:25～14:45 話題提供1 「福井県における発達障害者の就労」

福井県発達障害児者支援センター スクラム福井 副センター長 野村 昌弘

14:45～15:05 話題提供2 「就労した発達障害者事例から」

福井市発達障がい相談支援事業所 相談支援専門員 熊本 浩之

15:05～15:25 話題提供3 「保護者の立場から」 NPO法人全国LD親の会評議員 永井 弘明

15:25～15:55 ディスカッション 上記話題提供者 3名

座長 清水 聡（福井県立大学/JDDnet福井代表）

15:55～16:00 閉会のことば

永井 弘明（JDDnet福井事務局長）

参加費無料

主催：日本発達障害ネットワーク福井（JDDnet福井）

共催：NPO法人はるもにあ 後援：福井水仙ロータリークラブ

